

現在、1階水槽コーナーに伊豆沼で捕獲された「黄金ナマズ」を展示しています。笑っているような顔で来館者の人気者となっています。お越しの際には是非ご覧下さい。

Vol.135

令和3年度9月号

ハスの開花状況



今年度の伊豆沼は、ハスの花着きがとても良好でした。ハスの開花数と光量には正の相関が認められるそうなので、今年の短かった梅雨と長かった日照時間が、ハスの開花数を増加させた可能性があります。ハスの花は、浅い場所から湖心に向かい咲き進みます。現在の伊豆沼・内沼はハスの開花は終盤を迎えています。まだ湖心を中心に多くのハスの花が咲き残っています。

来館状況

夏場は、毎年来館者が増える時期です。ハスが見頃を迎え、伊豆沼には大勢の観光客が訪れます。今年度のハスは、ここ数年で一番の開花状況です。また現在、館内では、「黄金ナマズ」を展示しています。この「黄金ナマズ」がテレビで放映されたこともあり、大勢の方が（御利益を求めて？）来館されています。8月に入って猛暑の日が続く中、涼しい館内に涼を求めて来館する人も多いように思われます。



写真中央の奥にいるよ。

令和3年度、第1回 自然体験講座参加者募集

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を延期していましたが自然体験講座を10月開催予定の「伊豆沼漁師体験」から順次開催していきます。

伊豆沼漁師体験参加者募集

いろいろな網を使い、魚を獲る漁師になろう。
大きな魚と出会えるかもしれません。

第1回 10/3 (日)10:00~13:00 (雨天中止)

対象は小学生以上（小学生は保護者同伴）。定員は20人申込先着順。参加費は1人1,000円（昼食・資料・保険代）。持ち物は長靴、汚れてもいい服、着替え、帽子、飲み物、タオル、マスク。

◆お申し込み方法等の詳細は、サンクチュアリセンター館内の申込用紙、またはホームページを確認願います。また、参加する皆さんの新型コロナウイルス感染防止へのご協力をお願いします。

注意：新型コロナウイルス感染防止対策のため、体験講座を中止する場合があります。



県議会環境福祉委員会の視察・調査



宮城県議会環境福祉委員会の方々が財団の活動状況等、視察・調査のため来館しました。参加議員からは、財団研究員が説明した「伊豆沼における自然再生活動」のゼニタナゴ復元の成果などに高い関心を示して頂きました。また、みやぎ環境税でリニューアルした展示物や見ごろを迎えた伊豆沼一面に広がるハスの群落も併せて見て頂きました。当日委員の方々からいただいたお誉めの言葉やご助言を胸に、今後の活動に取り組んでいきたいと思えます。

ミズアオイ群落再生

かつての伊豆沼・内沼は、現在と比較して水位の変動が大きかったため、冠水と干出を繰り返す湿地が広がっていましたが（冠水草地といいます）。ミズアオイは冠水草地や湿田に生育する植物で、特に洪水などの影響を受け攪乱された場所を好むという特徴を持ちます。晩夏に咲く青い花はとて美しく、冠水草地の景観を一変させます。治水の進展と水田の乾田化、湿地の縮小とともに、その数を減らしていますが、昨年伊豆沼に造成したエコトーンには、大きな群落が形成されました。エコトーンの造成によって環境が改善し、地下で眠っていた種子が一斉に芽生えたと考えられます。ミズアオイ群落の再生は、エコトーン造成事業の大きな成果といえるでしょう。

